

第2回 練馬区立南大泉保育園運營業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

平成30年5月8日（火）午後2時00分～3時45分

南大泉保育園視察

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）、
南大泉保育園長、副園長ほか

1 園長より南大泉保育園の概要説明

2 園内視察

3 選定委員からの主な質問と回答

Q 職員数が多いが、職員同士がコミュニケーションを取れるような工夫は行っているか。

A 朝礼や職員会議時に情報の共有を図ったり、昼食は1か所で摂るようにしている。非常勤、臨時職員に関しては声をかけたり、ホワイトボードを用いて情報共有を図っている。また、職員の声は、職員会議、育成面談、オリエンテーションの際に、意見を聴くよう努めている。

Q 園に、栄養士はいないのか。

A 南大泉保育園に配置されていないが、大泉学園保育園の栄養士が連携先となっており、栄養だよりのベースを送付してもらう他、年に2回、園児に向けて食育やマナー、バランスの取れた食事についての指導を連携して実施している。

Q アレルギー児はいるか。

A いる。朝礼で献立を読み上げ、配慮を要するお子さんの除去食を職員で共有している。申し送りをして確認している。

Q 職員の接遇について、どのような指導を行っているか。

A 挨拶は基本であり、声を掛けなくとも会釈はするなど、常日頃から話をしている。

Q 民間委託について、保護者から不安の声はあるか。

A 全職員が異動することに対して不安はあると思う。一方で、延長保育を希望している声もある。

Q 職員の育成で大切にしていることはあるか。

A トップダウンだけでは良くないと考え、横の連携を意識している。その上で最終的な決定や方向性は園長が打ち出したいと考えている。